

みずほCustomer Desk Report 2019/06/10 号 (As of 2019/06/07)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	108.53
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	108.46	1.1276	122.29	1.2693	0.6974
SYD-NY High	108.63	1.1348	122.70	1.2763	0.7022
SYD-NY Low	107.88	1.1251	122.10	1.2690	0.6964
NY 5:00 PM	108.23	1.1332	122.62	1.2737	0.7000
NY DOW	25,983.94	263.28	日本2年債	-0.2000	1.00bp
NASDAQ	7,742.10	126.55	日本10年債	-0.1200	0.00bp
S&P	2,873.34	29.85	米国2年債	1.8504	▲2.73bp
日経平均	20,884.71	110.67	米国5年債	1.8505	▲3.15bp
TOPIX	1,532.39	7.48	米国10年債	2.0836	▲3.65bp
シカゴ日経先物	21,035	155	独10年債	-0.2585	▲1.75bp
ロンドンFT	7,331.94	72.09	英10年債	0.8125	▲1.15bp
DAX	12,045.38	92.24	豪10年債	1.4810	▲1.50bp
ハンセン指数	-	-	USDJPY 1M Vol	6.65	▲0.30%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	6.75	▲0.26%
NY金	1,346.10	3.40	USDJPY 6M Vol	6.98	▲0.21%
WTI	53.99	1.40	USDJPY 1M 25RR	-1.46	Yen Call Over
CRB指数	174.42	0.55	EURJPY 3M Vol	6.99	▲0.22%
ドルインデックス	96.54	▲0.50	EURJPY 6M Vol	7.35	▲0.18%

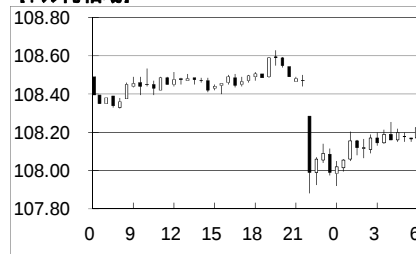
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月7日	15:00	独 鉱工業生産(季調済/前月比)	4月 -1.9%	-0.5%
	15:45	仏 鉱工業生産(前月比/前年比)	4月 0.4%/1.1%	0.3%/1%
	15:45	仏 製造業生産(前月比/前年比)	4月 0.0%/0.5%	-
	21:30	米 非農業部門雇用者数変化	5月 75k	175k
	21:30	米 失業率	5月 3.6%	3.6%
	21:30	米 平均時給(前月比/前年比)	5月 0.2%/3.1%	0.3%/3.2%

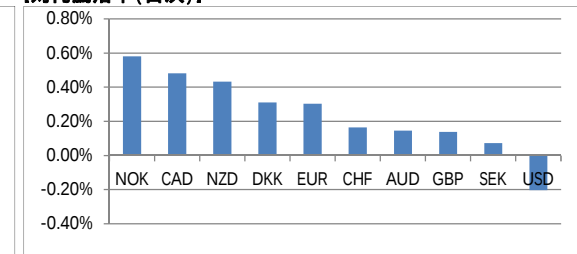
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月10日	08:50	日 GDP(季調済/前期比)・確報	1Q 0.6%	0.5%
	08:50	日 GDP(年率/季調済/前期比)・確報	1Q 2.2%	2.1%
	08:50	日 GDPデフレーター(前年比)・確報	1Q 0.2%	0.2%
	17:30	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	4月 -1%/0.9%	0.7%/1.3%
	17:30	英 製造業生産(前月比/前年比)	4月 -1.4%/2.0%	0.9%/2.6%
	-	中 貿易収支	- \$23.20b	\$13.84b
	-	中 輸出/輸入(前年比)	- -3.8%/-3.3%	-2.7%/4.0%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	107.50-109.00	1.1280-1.1380	121.30-124.00

【マーケットインプレッション】

7日のドル円は上値の重い推移となった。米5月雇用統計を控え、動意の薄い展開。その後米5月雇用統計の結果が市場予想を下回ったことから、一時安値107.88円まで下落した。週末を前に米国による対メキシコ関税の結論を待ちたい思惑がある中で、米利下げ期待高まるも、米債先物に利益確定の売りが入り米金利が上昇、米株の堅調な推移もあってドル円は徐々に値を戻し、108.23レベルで取引を終えた。

本日のドル円は軟調推移すると予測。中国5月貿易収支が本日発表予定。米中通商問題の影響が懸念されており、市場予想を下回れば下落圧力として働くだろう。米国による対メキシコ関税発動が無期限延期になったものの、対中に加え、対日、対欧州の通商問題は、ドル円の上値を重くすると考えられる。

東京	東京時間のドル円は108.46レベルでオープン。前日海外時間の流れを引継ぎ日経平均株価が堅調推移となったことや、仲値にかけての実需のドル買い70-等を背景に一時108.53まで上昇。しかし、前日海外時間高値(108.56)がレジスタンスとして意識され、その後は伸び悩み方向感に乏しい展開に。麻生財務相がG20財務相・中央銀行総裁会議に併せて、ムニッヒン米財務長官と会談すると明らかにしたものの、市場の反応は限定的。その後は米5月雇用統計を控えての様子見ムードとなる中、狭いレンジ内での推移が継続し、108.46レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は108.46レベルでオープン。米国が計画するメキシコへの関税賦課について、米政府が先送りを検討していることが伝わったことから、リスク回避ムードが和ぎ、円売りが優勢。しかし、午後には米5月雇用統計の発表を控え、上値も限られた。108.63まで上昇した後、結局、オープンと殆ど同水準の108.48レベルでNYに渡った。ユーロドルは1.1265レベルでオープン。前日、ドナキ総裁は、利下げなどの手段を利用する方針を示したことに加え、スロベニア中銀総裁も、前日発表した措置以外に「可能な他の措置」を講じる用意があると述べたことから緩和ムードが広がり、ユーロ売りが進展。ECB理事会メンバーのノットニ・オーストリア中銀総裁が、ECBの新型の貸出条件付き長期資金供給オペ(TLTRO3)について、一定の期間に限定し、恒久的な措置とすべきではないとの認識を示したことで下げ圧も、反応は限定的。1.1271まで堅調に推移し、1.1270レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	ドル円は108.48レベルでNYオープン。注目の米5月雇用統計は、非農業部門雇用者数が7万5千人増と予想17万5千人増を大幅に下回り、過去2ヶ月分の非農業部門雇用者数も下方修正されたほか、平均時給も前月比で予想0.3%に対して結果0.2%と予想以上に鈍化したことから、ドル売りが強まり、107.88まで下落。売り一巡後、米10年債利回りの低下幅縮小や米株の堅調推移にサポートされ、108.25まで買い戻されるが、米利下げ観測が高まる中、この水準で上値は重く、反落する。週末を控え、終盤は方向感無い推移となり、108.23レベルでクローズ。一方、海外時間のユーロドルは、特段の手掛かり材料が見当たらなかったものの、1.12台半ばでじり安推移となり、1.1270レベルでオープン。朝方は米5月雇用統計の低調な結果にドル売りが強まり、1.1300レベルを上げ、3月22日以来の高値1.1348を付ける。買い一巡後、1.1324まで反落するが、ユーロ円が上昇する動きにサポートされ、1.1340近辺まで戻す。終盤は小幅反落し、結局、1.1332レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:小笠原・森谷